

平成23年度 補正予算の 審議から

Q & A 【抜粋】



消防団OB会「互桜会」による自主防災組織活動の講演会

質問 震災の際、消防や市の車両だけではなく、地区センターの公用車も緊急車両に指定し協定業者から燃料供給を受けてはどうか伺います。

答弁 燃料供給の協定の相手、燃料の確保、指定車両の選定等を検討し、迅速な対応ができるよう体制を整備していきます。

質問 官民協働型シンクタンク研究員報酬など関連する予算の内容について伺います。

答弁 目的は社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的、あるいは市行政の合理的、能率的運営を実現する方策について、機動的に政策提言を頂くため設置しよ

うとするものです。

質問 スマートインターチェンジの進捗状況について伺います。

答弁 昨年度、基本構想を策定し国、県に対して要望しております。今年度県から奥州市、矢巾町、滝沢村の3箇所について広域検討に入る連絡を頂いています。

質問 前沢小学校統合後の空き校舎の活用方法について伺います。

答弁 小学校統合後に検討するのではなく、早目に活用策について財産管理の面も含めて検討する内部体制を構築します。

質問 電力制限令が発動され、水道事業所が管理する上島浄水場が該当になるが、節電15%で給水に問題がないか伺います。

答弁 4月下旬から事前の確認等があり、対応可能であるか体制等含めて調査がありました。6月にポンプを実際に稼働させ、対応可能であることを確認しました。

奥州市水道施設における災害時緊急応援に関する協定書調印式



6/24水道施設の災害時緊急応援協定を第一環境(株)・(株)ジャパンウォーターと結ぶ

質問 ダムからの取水に一本化する上水道の計画のようだが、今回の大震災を経験し自己(市)水源の確保が必要と思われるが、水道事業の将来計画について再検討すべきと考えますが伺います。

答弁 市には35箇所の水源地がありますが、予備的な水源確保も必要と考え、もう一度精査をしていきます。